

## 1 学校教育方針

- (1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法、中学校学習指導要領などの関係法令及び、長崎県・西海市の教育方針並びに教育振興基本計画に基づき、協働の精神を基盤として、職員が英知を結集し、生徒とのふれ合いと家庭及び地域との連携を図りながら、生徒・保護者・地域の願い信頼に応える教育活動を推進する。
- (2) 「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」の理念の下、学校生活及び各種の取組を通して、学校・学年・学級への所属感と自己肯定感を高め、今の生活を意義あるものにさせるとともに、将来を生き抜くための礎を築かせる。
- (3) 知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指し、活力ある学校の想像と地域に愛される学校づくりに務める。

## 2 校訓

自主 至誠 健康

## 3 学校教育目標

自ら拓く 心豊かで たくましい生徒の育成

### 【めざす学校像】

感動ある学校

自主：希望があり、ふれ合いに充ちた活気ある学校

至誠：規律があり、環境が整った美しい学校

健康：夢があり、伝統と校風を創造する学校

至誠：信頼があり、家庭や地域社会と協働する学校

### 【めざす生徒像】

自主的で自立心ある生徒

自主：自ら求めて学び、粘り強く継続する生徒

自主：社会性を身に付け、自立心をもった生徒

至誠：思いを受け止め、誠意をもって実践する生徒

健康：自らに誇りと責任をもち、もてる力で貢献する生徒

### 【めざす職員像】

誠実で教育愛に満ちた職員

自主：向上心をもち、自己研鑽に励む職員

至誠：深い教育愛をもち、感じて動き思いを受け止め、誠意で返す職員

健康：和を大切にし、協力・連携して教育活動を推進する職員

#### 4 令和5年度スローガン

愛：西海 Spirit ～前進～

#### 5 重点目標

本校の伝統・校風を生かし、SDGsの観点から、未来の社会状況を見通す目をもって、学校教育目標の実現を目指す。

##### (1) 自ら拓く生徒の育成（主体的・協同的な学び）

- ① 「長崎県授業改善メソッド」「学びの土台づくり」を活用した授業と家庭学習の習慣化を図る。
- ② 夢・志を育むキャリア教育を推進し、予測不能な未来を生き抜く力の育成を図る。
- ③ 教育的ニーズを把握した特別支援教育を推進し自立的に生きる資質や能力の育成を図る。

##### (2) 心豊かな生徒の育成（思いやり）

- ① 積極的な生徒指導により信頼関係を構築し、基本的な生活習慣の定着を図る。
- ② 道徳の時間を要とする道徳教育を推進し、豊かな人間性の育成を図る。
- ③ 人権・平和教育を計画的に推進し、生命尊重や人権意識の高揚を図る。

##### (3) たくましい生徒の育成（自立心）

- ① 生徒会・学級活動等による主体的な活動を推進し、自治能力の育成を図る。
- ② 保健安全指導や部活動の指導を工夫し、安全及び健康の保持増進、体力の向上を図る。
- ③ 体験的な活動を意図的に計画・実践し、社会の一員として貢献する意欲の高揚を図る。

#### 6 西海中学校職員として（チーム西海中）

子どもたちにとって、先生方は最大・最良の教育環境です。将来、子どもたちが学力や社会性を身につけ社会に出て生き抜くためには、私たちはチームとして機能する必要があります。互いの信頼に基づく良好な職員関係をつくりましょう。

また、先生方の指導があって生徒は成長できます。先生方の健康は第一です。健康に留意し、互いに思いやりながら、チーム西海中の一員として、日々を過ごしましょう。

##### (1) 職員の同僚性を高め、責任と使命を自覚し、各校務分掌の有機的な運営と活性化に努める。

##### (2) 校内研修や各種研修会に積極的に関わり、教職員としての資質向上に努める。

##### (3) コンプライアンス意識を高め、綱紀の保持・不祥事の根絶に努める。

##### (4) 働き方改革

- ・超過勤務時間80時間を超える職員を「0」にする目標達成を目指し、ライフ・ワークバランスを考えた働き方改革を推進する。
- ・C4th導入に伴い、連絡事項は連絡掲示板機能を活用する。連絡会を木曜日のみとする。
- ・施錠時間は、部活動終了後30分後。できる限り、部活動終了時間に施錠する。それ以降施錠する場合は、やむを得ず残る先生が施錠する。
- ・年休を計画的に取得する。休みやすい環境づくり（お互い様の精神で）  
市費職員：完全消化      県費負担職員：15日消化を目標に計画的に取得する。  
リフレッシュ休暇対象職員：本年度中に取得するよう計画する。